

平成23年度版

# 病院年報

第36卷

越谷市立病院

## 平成23年度版病院年報の発刊にあたって

院長 津村 秀 憲

平成23年3月11日に発生した「東日本大震災」は、観測史上最大と言われる地震と津波により、各地に甚大な被害をもたらしました。さらに東京電力福島第一原子力発電所の事故によって多くの人々が避難生活を余儀なくされるなど、今なお大きな爪痕を残しています。1年以上の歳月が過ぎても、被災地の復旧・復興どころか瓦礫の処理すら遅々として進んでいない現状に、忸怩たる思いを抱いているのは私だけではないでしょう。人智を結集して作りあげた強固な堤防や建築物も、自然の猛威の前には為すすべも無く、「想定外」という言葉に人間の無力さを感じざるを得ません。

平成23年度の当院は、計画停電にはじまり夏季の節電対策などの突発的な災害対応に振り回されながらも、既定の方針である入院基本料7対1の取得、内視鏡室・化学療法室の建設など、第二期中期経営計画に掲げた事業を着実に実施してまいりました。平成23年度から本格実施となった看護師の二交代制勤務と、7対1看護実現のための看護職員定数の増により、積極的に看護師の確保に努めた結果、6月から入院基本料7対1を取得することができました。また、長年の懸案であった内視鏡室等の環境を整備するための増築工事も滞りなく完工し、平成24年5月から1階は内視鏡センター、2階は外来治療室、3階は会議室として供用を開始しています。

未曾有の災害に見舞われた激動の年ではありましたが、計画に沿って職員一丸となって病院経営に取り組んだ結果、平成23年度決算は前年度に引き続き黒字を計上することができました。職員皆で策定した計画が実現することで、一人ひとりが経営に参画しているという実感が生まれ、その意識が相乗効果となってさらに良い医療が提供できるようになると考えています。

あの3月11日を境に、これまで社会の規範となっていた常識や価値観が大きく変わってきています。当院の理念である「Smile, Safety, Satisfaction」を念頭に、時代の風を敏感に捉えながら、地域の基幹病院として信頼されるよう一層努めてまいります。

## 病 院 の 理 念

私たちは地域の健康を守るため最良の医療を志向し、愛され信頼される医療を行なうにあたり、次のことを実践します。

－ smile , safety , satisfaction －

- 私たちは病院の使命を自覚し、患者様のニーズに応える医療を提供します。
- 私たちは医療の向上に努め、生命の尊厳を重視し安全な医療を提供します。
- 私たちは患者様の視点に立ち、患者様が満足できる医療を提供します。

平成14年4月1日制定

## 基 本 方 針

- 1) 救急医療を充実させ、地域住民の求める医療に積極的に応えます。
- 2) 医療連携を積極的に推進し、地域に根ざした医療を展開します。
- 3) 安全な医療を旨とし、医療の質・患者サービスの向上を図ります。
- 4) 確かな技術、豊かな感性で高度な医療を展開します。
- 5) 職員は使命感と誇りを持ち、夢と感動ある医療を実践します。
- 6) 安定した経営基盤を確立し、限りある医療資源を有効に活用します。
- 7) 「患者の権利と責務」を遵守し、患者様との信頼関係に結ばれた医療の提供を目指します。

平成19年4月1日制定

# 目 次

## 第1章 概 要

(1) 病院の概要	1
(2) 病院の沿革	3
(3) 届出に関する事項	12
(4) 配置図等	14
(5) 病院機構図	16
(6) 施設の概要	18
(7) 主要医療機器等一覧	20

## 第2章 平成23年度業務

### 第1節 管理業務

(1) 職員に関すること	23
(2) 財務に関すること	25
(3) 業務の委託	33
(4) 光熱水費の状況	34

### 第2節 病院業務

(1) 患者数調べ	35
(2) 診療報酬に関すること	40
(3) 院内死亡数及び解剖数	41
(4) 臨床検査科業務	42
(5) 薬剤科業務	45
(6) 栄養科業務	49
(7) 放射線科業務	51
(8) 内視鏡室業務	58
(9) 中央手術室業務	59
(10) リハビリテーション科業務	60
(11) 人間ドック集計	62
(12) 看護部業務	64

## 第3章 研究業務

(1) 学会等における研究発表及び講演	68
(2) 著書及び論文発表	79
(3) 研究発表	
1) 内 科 Clinical Significance of Anti-U1 RNP Antibodies Recognizing The Conformation Structure on U1 RNA/70-kd Protein Complex in Patients with Mixed Connective Tissue Disease.	82

2) 消化器科	食道癌の現状	93
3) 小児科	軽度蛋白尿で診断に時間を要したネフローゼ症候群の1例	95
4) 外科	十二指腸水平脚に発生したGISTの切除	98
5) 整形外科	外傷によりセラミックライナーの破損を呈した人工股関節全置換術後の1例	102
6) 脳神経外科	重力可変装置を加えたシャントシステムによる特発性正常圧水頭症の治療経験	106
7) 泌尿器科	前立腺部尿道の尿路上皮内癌(CIS)が前立腺導管を進展した1例	109
8) 産科・婦人科	子宮腺筋症に対してレボノルゲストレル除放型子宮内避妊システム(LNG-IUS)を使用した8症例の検討	112
9) リハビリテーション科	糖尿病の血糖コントロール状態と末梢性顔面神経麻痺回復の関係について	117
10) 臨床検査科	凍結ブロック作製装置「ヒストテック・ピノ」の使用経験	119
11) 薬剤科	当院における広域抗菌薬使用届け出制の取り組み	121
12) 3-1 病棟担当	内服管理方法の評価の統一 —ステップアップマニュアルを取り入れて—	123
13) 中央滅菌室・手術室担当	周手術期看護師における学習会の効果 Off-JTにおける学習会の効果と行動変容の関連性	126
(4) 平成23年度ガス・メス納め集会より		
1) 麻酔科	麻酔科・中央手術室手術統計	130
2) 循環器科	循環器科年次報告	132
3) 外科	外科手術統計	133
4) 整形外科	整形外科手術統計	134
5) 脳神経外科	脳神経外科手術統計	135
6) 皮膚科	皮膚科手術統計	136
7) 泌尿器科	泌尿器科手術統計	137
8) 産科・婦人科	産科・婦人科手術統計・分娩統計	138
9) 眼科	眼科手術統計	139
10) 耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科手術統計	140
11) 臨床検査科	病理・細胞診・解剖統計	141